

みんな大好き! わが家の宝



しらかわ ゆずき
白川 柚葵ちゃん
平成26年3月29日生
有弥の里1区

Happy Birthday♡
ゆずスマイル最高!!
ゆずきが笑うとみんなもニッコリ。笑顔いっぱい幸せいっぱいの仲よし家族でいようね。(^_^)



のま あいは
野間 愛奈ちゃん
平成24年2月5日生
原町1区

3歳のお誕生日おめでとう♡
4月から幼稚園だね。
お友達がたくさんできますように。

いろいろな発見がありました 小学生が畦町の歴史について学びました



▲『世界一小さな蚕博物館』では繭玉に触らせてもらいました

1月28日、上西郷小学校の2年1組29人が畦町について学ぼうと、生活科の授業の一環として畦町に残る史跡などを巡りました。

貴船神社の歴史や『祟りの大石』の言われを教わったり、『世界一小さな蚕博物館』が、かつて畦町で盛んだった養蚕業を支える施設だった話を聞いたりした子どもたちは、時折質問をしながら熱心にメモをとって勉強していました。

『お祇園様池』と呼ばれる池でアカハライモリを発見した子どもたちは、冬眠中で見つからないと思っていただけに、みんな大喜びでした。
寒中ががんばって勉強した子どもたちは、また少し畦町に詳しくなったようです。



▲「30年間、町医者としてできることに取り組んできました。私だけでなく家内を含め、当院職員の協力のおかげと感謝しています」と喜びを語る上田寛先生



▲「会員の皆さんの支えと市のご指導があって表彰を受けることができました。楽しいボランティアをみんなで長く続けていきたいです」と語る宗岡浩子さん

長年の功績をたたえて 県の表彰を受けました

1月30日に開催された第62回福岡県公衆衛生大会で、上田医院院長の上田寛先生と福津市食生活改善推進会会長の宗岡浩子さんが県知事表彰を受けました。

上田先生は、長年にわたり学校医として学校健診の充実に積極的に取り組まれるとともに、宗像地区急患センターの出務医師・管理者として28年間、宗像地区の救急医療の診療体制の充実に貢献されました。また、宗像医師会会長として宗像地区の公衆衛生の向上発展に寄与された功績により、公衆衛生事業功労者として表彰されました。

宗岡さんは、平成12年から食生活改善推進会の会長としてリーダーシップを発揮し、市と連携しながら市民の健康増進のためのさまざまな事業に積極的に取り組まれるとともに、宗像・遠賀地区食進会および県食進会の会長として会員増加や組織強化を実現されました。幅広い年代の市民を対象にした活動を通じて、健康づくりや食育の推進に貢献された功績が栄養関係功労者として認められ、表彰されました。

市民広報 ボランティア

福豆まき神事



2月3日、宮地嶽神社で豆まきが行われ、撮影に行きました。幼児専用レーンに2歳半から4歳のかわいい子どもさんがいて、豆まき前の仕草を追っているとまさに「これぞ今日の収穫」といった様子が目に飛び込みました。その仕草は誰に教わったのかわかりませんが、手提げ袋を広げて上下に適当な早さで動かしていました。
豆まき本番は、特設のやぐらに上がった年男・年女が投げる福豆を、およそ700人の参拝客が歓声を上げながらひしめき合って追っていました。

【山本武利】

郷づくり神興東による餅つき大会



2月1日、神興東小学校で郷づくり神興東による恒例の餅つき大会が開催されました。
前夜の雨もやんでかすかに日の差す中、郷づくりと育成会が協力して蒸し上がった餅米を次から次へと3つの臼に移し、ちびっ子も加わって餅をつき上げていきました。出来立ての餅はすぐに雑煮やあんころ餅、きなこ餅、大根おろし餅、納豆餅にされ、500人を超える人たちの胃袋に収まっていきました。龍神太鼓も披露され、会を大いに盛り上げていました。

【吉村邦夫】

集まれ花見の交流会



1月17日、花見区公民館で「集まれ花見の交流会」が開かれました。主催は花見区の小学6年生と民生委員です。
花見区の小学6年生が同じ地域のシニアの皆さんを招待して、楽しく遊ぼうというこの企画。寸劇や福津〇×クイズ、紙飛行機飛ばし大会、ペットボトルボーリングなど面白い出し物がいっぱいで、シニアの皆さんも楽しい時間を過ごしました。
楽しい話題を囲んでのお茶会も和やかでした。

【徳永孝志】

西郷川のコイ



水光会総合病院前の西郷川では、野鳥をよく見掛けますが、コイも数多く見掛けます。
早朝、国道3号線下の鞍掛橋から川を見てみると、数匹のコイを見つけました。眺めていると次第に数が増えてきて、橋の下を回遊しています。どれも大物ばかりで、初めて見る光景でした。
川沿いを散策すると冬の川は澄み切っていて、支流の桜川でもコイやシラサギを見ることができました。福津市も開発が進み住宅も増えてきましたが、自然や動植物にとっても今以上に住み良い環境の街になるといいですね。

【福岡信一】

白砂青松を身近に

福岡海岸松林ウォークラリーがありました

2月1日、福岡海岸松林ウォークラリーが開催されました。福岡地域に広がる松林を、およそ500人の参加者が、豊かな緑を楽しみながら歩きました。道中ではクイズやアトラクションといった企画や、歩いた後には豚汁の振る舞いや抽選会なども行われ、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントでした。

これまで行われてきた松林保全活動によって、雑草や不法投棄であふれていた松林が見違えるようにきれいになりました。ぜひ松林を訪れ、市の木となった「松」を楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲冬でも元気な松の緑を楽しみながら歩きました

これも食育です

大和保育所でみそ作りを体験しました



▲初めてのみそ作りにみんな笑顔で楽しみながら挑戦

1月22日、大和保育所の年長児がみそ作りを体験しました。食生活改善推進会の皆さんの指導のもと、子どもたちは麦麴と塩、大豆を混ぜて、こねて、みそのお団子作り。子どもたちは土遊びをするように楽しそうに作っていましたが、中には麴の独特なおい顔をしかめながら必死に作る子もいました。

丸め終わったみそ団子は、先生たちが空気を抜きながら容器に詰めて作業完了。年長児は3月の卒園時に一人一人分けて持ち帰り、6月ごろには各家庭でおいしく食べられるようになります。

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのおだい

希望を持つことの大切さを自らの体験を通じて講演

ふれあい交流事業の講演会がありました

2月7日、車いすテニス2014アジアパラ競技大会銀メダリストの川野将太さんの「車いすテニスとの出会い～希望を持っていることの大切さ～」と題した講演会がふくとびあで開催されました。

川野さんは17歳の時にバイクの事故で胸から下に麻痺が残る障がいを負い、歩くことも身の周りのこともままならない自分に人生を諦めかけていた時に車いすテニスと出会いました。車いすテニスが生きる目標や夢となった川野さんは、多くの苦難を乗り越えて2014年のアジアパラ競技大会で銀メダルを手にするなど、これまでに輝かしい成績をいくつも残しています。

川野さんは「年齢、性別に関係なく夢を持つことが大切。希望を持つと明るく過ごすことができる。小さなことでもいいので夢を持ち、行動に移してください」というメッセージで講演会を締めくくりました。

挫折や苦勞を乗り越えて、そのメッセージをまさに体現してきた川野さんの説得力のあるお話に、来場者は熱心に聞き入っていました。

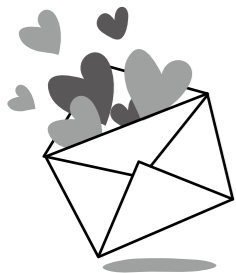


▲「2016年リオデジャネイロパラリンピックへの出場が今後の目標」と語る川野さん



▲アジアパラ競技大会で獲得した銀メダルを来場者が直接手にすると「重たいですね」と驚く人もいました

市民広報 ボランティア



おたより寄せちゃってんしゅい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゅい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。
※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

✂ 切りとり

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所

◎ 電話() -

お手数ですが
52円切手をお貼りください

福津市役所広報秘書課
広報広聴係 行

聞いてちゃってんしゅい!
ふくつ便

自由投稿コーナー



問い合わせ
福津市広報秘書課
(福岡庁舎)
☎ 0940・43・8113

✂ 切りとり

協力してきれいなまちに



最近、旭橋～太郎丸～手光までの幹線道路の沿道がとてもきれいです。植え込みの根元や歩道にごみがほとんどありません。それは年に2回、ふくま郷づくりの会が呼び掛けて、自治会や住民の皆さん、事業所のかたがたによる一斉清掃が行われているからです。参加者は毎回増えており、前回は150人以上のかたが除草やごみ拾いなどを行いました。この活動を「地域に定着させたい」と意欲的なふくま郷づくりの会会長の江野さん。

ある事業所では1日をすがすがしい気持ちで過ごしてもらいたいと、全員で毎週土曜日の始業前に清掃し、まちの美化に協力しています。 【櫻井紀子】

いのちの話



1月24日、宮司コミュニティセンターで誕生学アドバイザーであり助産師でもある松田奈苗さんによる「小学3・4年生のためのいのちの話」がありました。誕生学とは「大人から子どもまで全世代に、妊娠・出産の仕組みを通していのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラム」です。この日は小学3・4年生の子どもと保護者を対象に行われました。

松田さんの温かくとても丁寧で分かりやすい話に親子とも引き込まれ、39人の参加者の中には「涙が止まらなかった」と話す人もいました。 【下田弘美】